

トラック物流問題解決に向けたオンライン説明会

物流効率化への取り組み

- ・標準レンタルパレット導入
- ・賞味期限表示変更

2025年8月25日
オタフクス株式会社
執行役員 SCM部 部長
小田 孝広



1. 企業理念並びに会社概要
2. 国内拠点並びに物流幹線輸送網
3. 2016年以降の主な取り組み事項
4. 標準レンタルパレット導入
5. 賞味期限表示変更
6. 今後の物流効率化に向けた取り組み
7. 物流パートナー様への思い

1. 企業理念並びに会社概要

企業理念と創業者の想い

使命感 (Mission)

食を通じて「健康と豊かさ」と和をもたらし、笑顔あふれる社会に寄与します

私たちの誓い (Value)

【五方よし】

お客様への誓い

お客様の笑顔と感動のために、英知を結集します

社員への誓い

社員が生き活きとはたらくために、環境整備と人材育成を推進します

お取引先への誓い

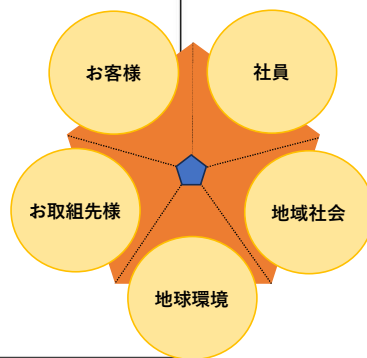
良きパートナーとして、共に新たな価値を創造します

地域社会への誓い

地域に根差し、本業を通じて社会に貢献します

地球環境への誓い

地球環境を愛しみ、自然と調和した活動を行います



創業者・佐々木清一の言葉



● ものごとはすべて善意に解釈し、明るく前向きに積極的に行動する人となろう

・世の中、皆が笑顔で幸せになれるよう、実践しましょう

● 人々に喜びと幸せを広めることを、自らの喜びとする

・人間、輪を保つためには、まず相手を思いやることが大切です。お多福の心は思いやりの心です。

調味料は人様の口に入るものだから、体に良くない原料は一切使ってはいけない

・人の体に入るものを作ることは、お客様の健康をお預かりしているということ。体に良くない原料は一滴たりとも使ってはいけません。

一滴一滴に性根を込めて

・ものを作るには、性根を入れて作ったものでないと売れないし、売ってはいけません。

お多福の心・・・思いやりの心

全てわが事として捉える

お好み焼店様のお悩みに
応えるソースづくり

お好み焼をご家庭にも
家庭用商品を開発

日本全国、そして世界へ
広がるお好み焼の輪

食に制限がある方にも楽しい食卓を
食物アレルギーなど食に制限のある方向けの商品を開発

お客様の声に応え続け、 笑顔をお届け続けるオタフクソース



○1950年 ソースの製造、販売を開始

○1982年 お好みソース500gに業界に先駆け樹脂容器(フクボトル)を採用

Otafukuグループ組織図



オタフクホールディングス(株)

Otafukuグループの戦略立案、各事業会社の統括管理を行う。
監査室・総務部・法務/リスク管理部・財務部・IT推進部・人事部・広報部・経営企画部

オタフクソース(株)



ソース、酢、たれ、その他調味料の開発・製造・販売

お好みフーズ(株)



お好み焼関連材料の開発

お多福醸造(株)



食酢、調味酢、甘酒等、醸造製品の製造・販売

OPP (株)



調味料、加工食品などのパッケージング全般

(株) ナカガワ



天かすの製造・販売

Otafuku Foods, Inc.



ソース、調味酢、たれ等、調味料の開発・製造・販売

大多福食品（青島）有限公司



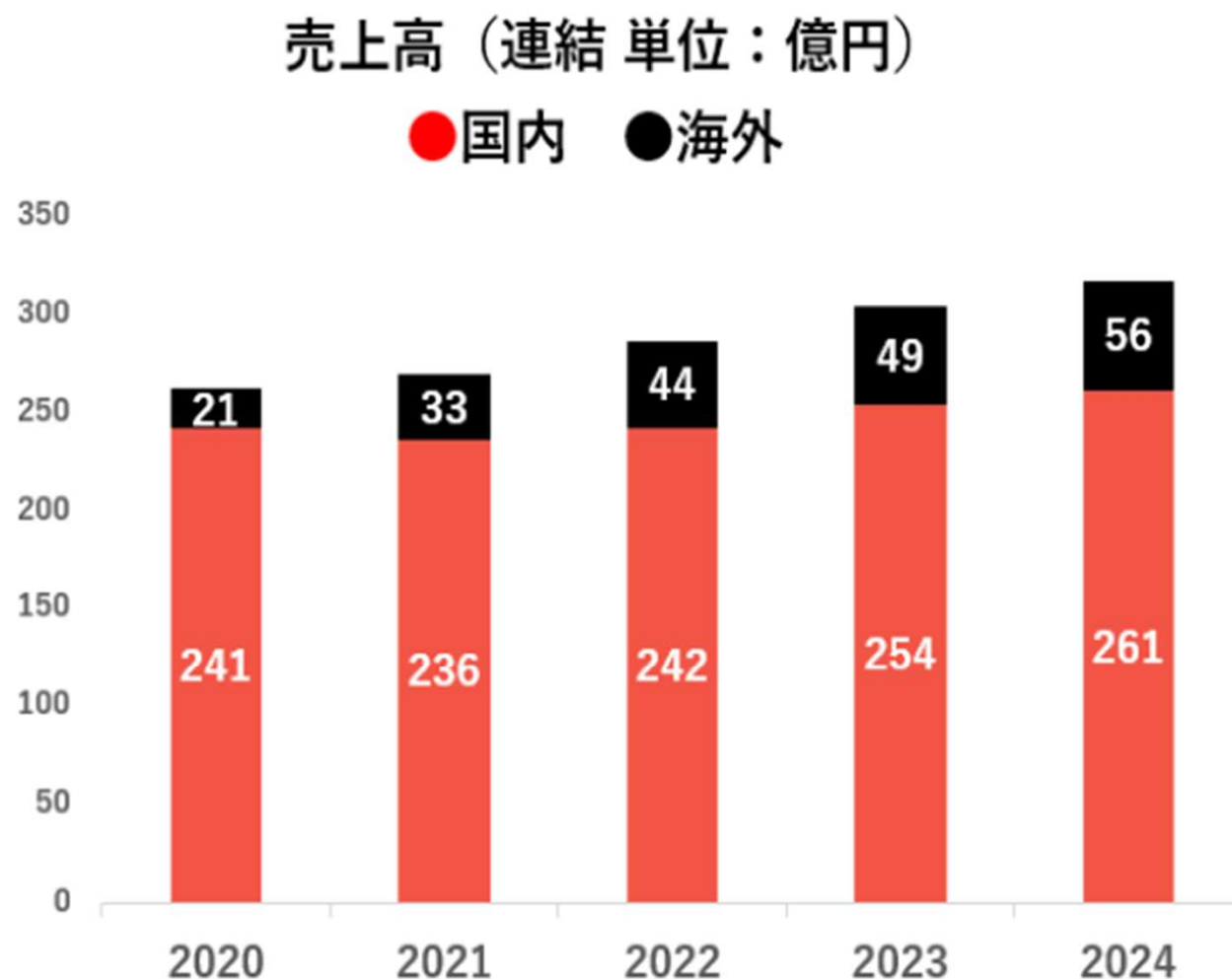
OTAFUKU SAUCE MALAYSIA SDN.BHD.

ハラール認証調味料の製造販売・輸出版売



売上高・社員数

■ Otafukuグループ年度別売上高・社員数推移



売上高
317 億円

社員数
940 名

平均年齢
41.1 歳

2. 国内拠点並びに国内幹線輸送網

国内拠点（生産拠点 4 工場）

生産拠点(広島)

本社・本社工場



大和工場※お多福醸造（株）



生産拠点(栃木)

日光工場



生産拠点(長崎)

長崎工場

※（株）ナカガワ



研究開発・情報発信拠点(広島)

WoodEgg お好み焼館



RDセンターWillEgg



お好み焼体験スタジオ OKOSTA



支店・営業所

- 札幌
- 東京
- 大阪
- 広島
- 福岡
- 仙台
- 名古屋
- 岡山
- 香川

※消費地、生産拠点を加味し配置
(全て委託)

2014年8月1日開設

札幌DC (札幌)
主な納品先
北海道全域

2018年10月29日開設

関西DC (大阪)
主な納品先
関西地方全域、兵庫県、
奈良県、京都府、三重県、
和歌山県

2000年8月31日 国内初開設

広島DC (広島)
主な納品先
中国地方全域、四国地方全域、
兵庫県、京都府、滋賀県

2017年7月18日開設

九州DC (福岡)
主な納品先
九州地方全域、沖縄県

2022年9月5日開設

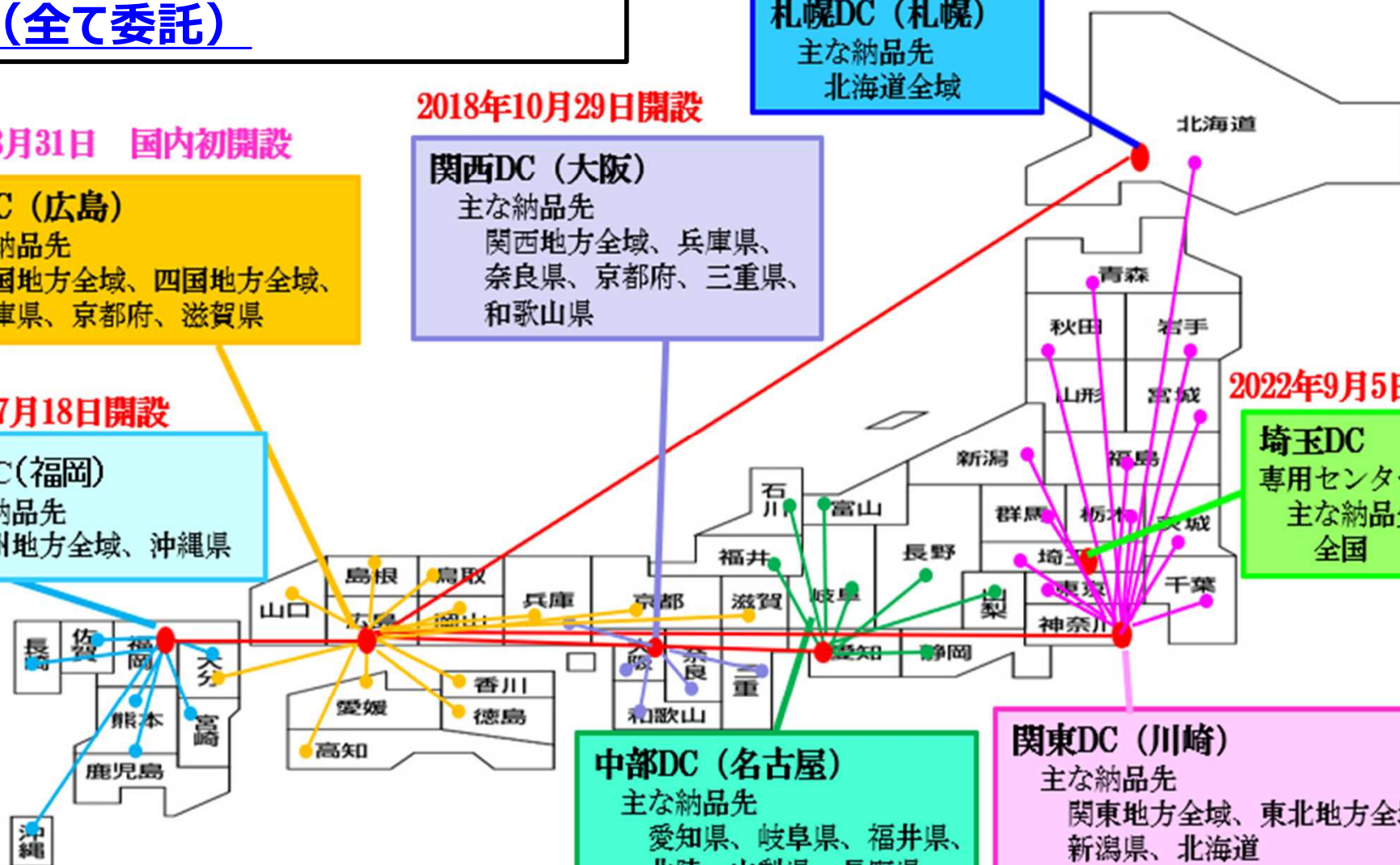
埼玉DC
専用センター
主な納品先
全国

中部DC (名古屋)
主な納品先
愛知県、岐阜県、福井県、
北陸、山梨県、長野県

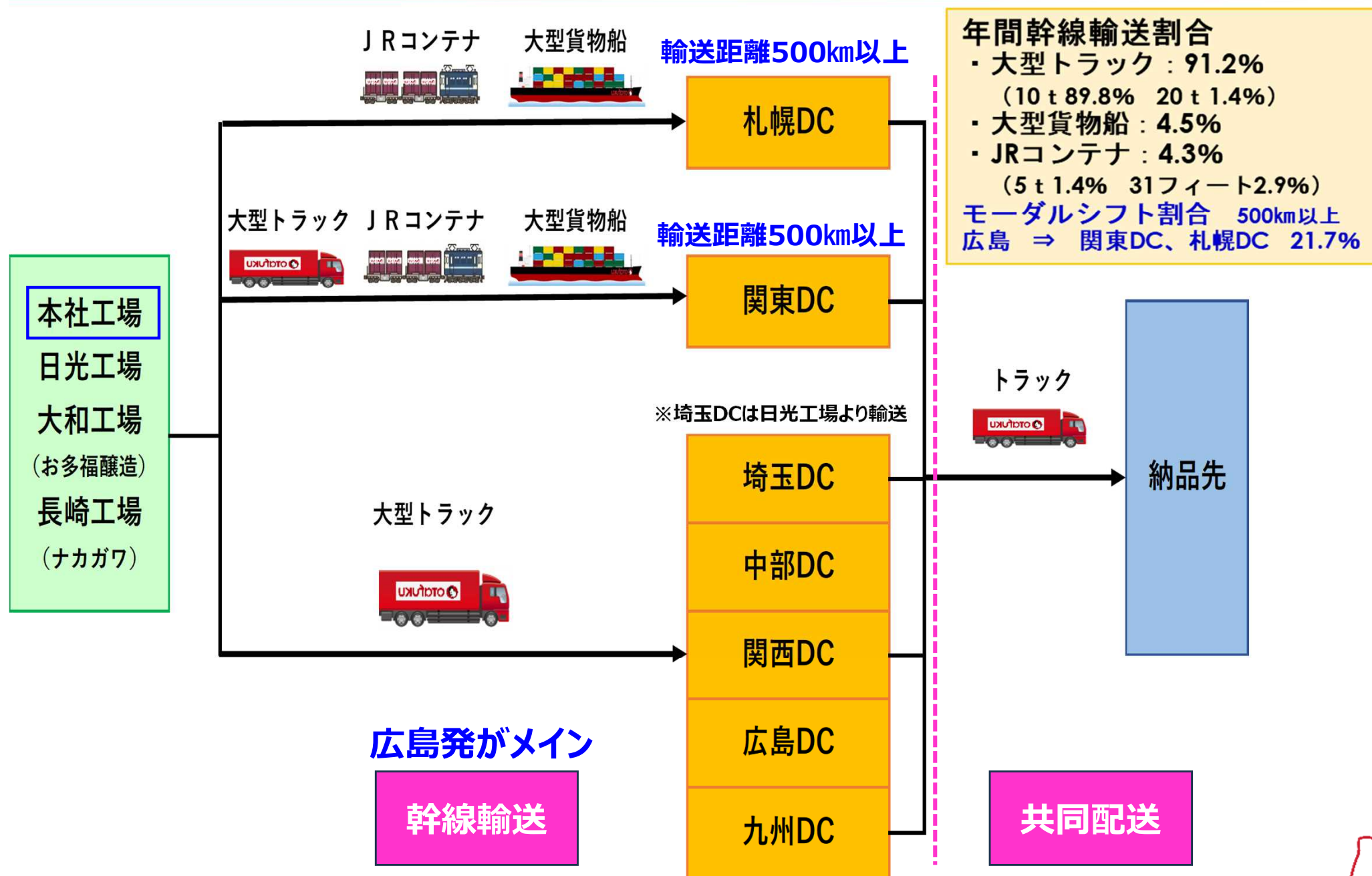
関東DC (川崎)
主な納品先
関東地方全域、東北地方全域、
新潟県、北海道

2003年10月1日開設

2008年6月1日開設



国内幹線輸送網



3. 2016年以降の主な取り組み事項

2016年以降の主な取り組み事項

2016年

12月 JPRパレット変更具体的な取り組み開始

2017年

※2014年から取り組み検討開始

5月 ZIP開始（適正在庫PJ）

7月 九州DC設置

10月 SCM課設置

2018年

4月 JPRパレット変更

9月 ZIP SCM実践取組開始

10月 関西DC設置

2019年

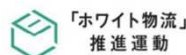
3月 ZIP 発注数量10csへ拡大

7月 ホワイト物流自主行動宣言

11月 生販物会議開始

受注OCR運用開始

12月 グリーン物流パートナーシップ登録



2020年

9月 家庭用商品賞味期限年月表示開始

2021年

3月 広島-札幌DC RORO船 輸送開始

4月 宇都宮DCを関東DCへ統合（ユニオンソース）

広島-関東DC RORO船 輸送開始

10月 AOI需要予測システム運用開始

11月 広島-岡山 納品先幹線輸送開始

2022年

6月 納品請求書電子化

9月 埼玉DC設置

10月 お多福醸造物流業務統合

2023年

10月 SCM部へ組織変更

SCMへの本格的取り組み開始

2024年

5月 広島-中部DC 20tトレーラー
運用開始

10月 広島-関東DC 20tトレーラー
運用開始

2025年

1月 広島-関西DC 20tトレーラー

7月 納品LT並びに受注時間延長

4. 標準レンタルパレット導入

◆ 2012年以降 複数の物流パートナー様より、 当社専用パレットから標準レンタルパレット変更 へ強く要望が出始めた

物流パートナー
このままでは運べない

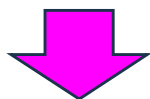
社内
設備改造費用・ランニングコスト・
変更するにあたっての工数などが
掛かりすぎるなど多数の意見

- ・納品先様より、標準レンタルパレットでの納品依頼が増加
- ・納品時に標準レンタルパレットへの積み替えの作業負担
- ・物流パートナー様が標準レンタルパレット費用を負担
- ・倉庫での保管場所の確保やパレット返送の作業負荷
- ・倉庫内衛生面（匂い、害虫、木くずなど）、清掃時間などの生産性向上

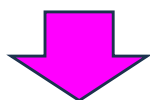
【企業理念】 【未来予測】

物流パートナー様からの意見を
『わが事』と捉え、『お多福の心』で真摯に取り組む
未来も継続して安定的に商品をお届けするためには、
必ず主流となる標準レンタルパレットに変更するべきと判断

時流を捉え、時流に乗る



設備費用・ランニングコストや全社での工数など課題など

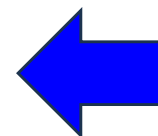


課題を改善し、解消することを前提に承認

JPRレンタルパレットへ変更内容

日本パレットレンタル株式会社

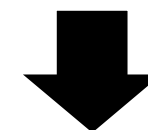
- ・**プラ製11型片面二方差パレット (PT-11)**
サイズ：1,100cm × 1,100cm
年間使用量：約60万枚



変更前 木製パレット
1100cm × 1300cm

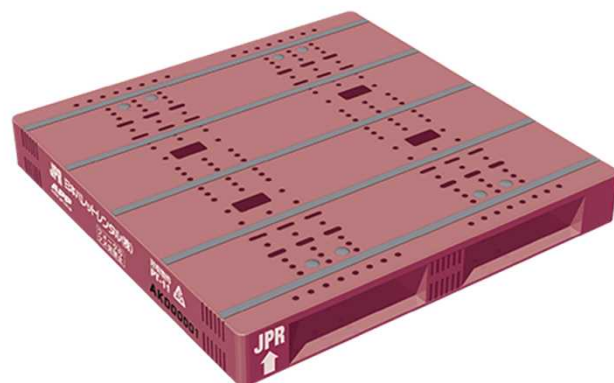


取り組み検討開始：2014年
具体的な取り組み開始：2016年12月



1年4か月

2018年4月1日 運用開始



【生産】

- ✓ 大掛かりな工場設備改造費用投資
- ✓ 衛生面(匂い、害虫)、木片の異物混入などなくなり品質向上

【物流】

- ✓ 変更前とのJPRレンタルパレット費用差異 約4倍
- ✓ 自社パレット在庫、返送依頼・その他の煩雑な業務不要

【物流パートナー】

- ✓ 木パレからJPRパレット積み替え作業短縮（約2時間）
- ✓ JPRレンタル費用適正化
- ✓ 工場への木パレット回収不要、保管スペース不要

【環境】

- ✓ 年間75トン分の木材削減
- ✓ 大型トラック約600台分の回収に係るエネルギーを削減

5. 賞味期限表示変更

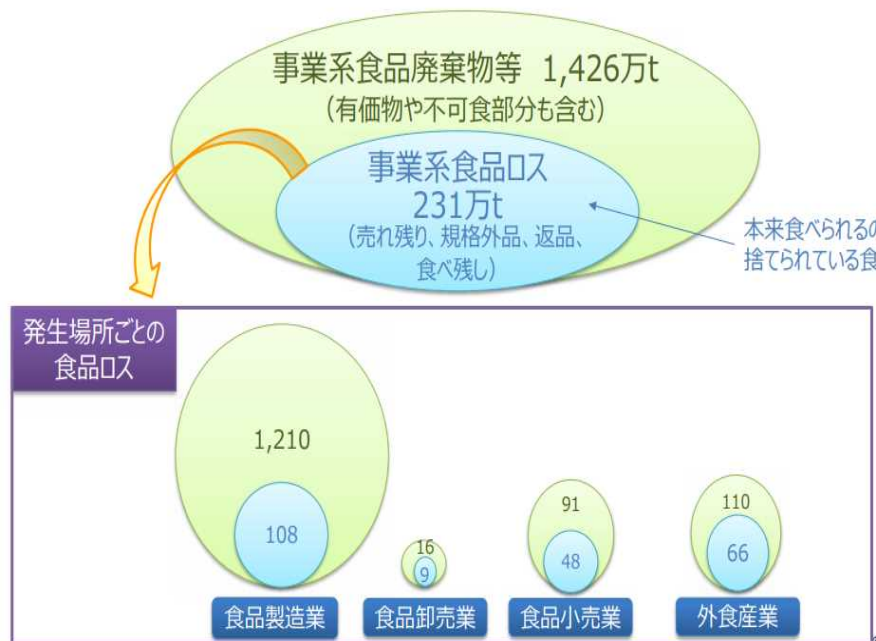
**地球環境保護ために、食品ロス・廃棄高削減に対する改善
無駄な費用削減することで、JPR運用コストアップ費用を補う**

事業系食品ロス 231万t

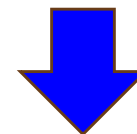
事業系の食品廃棄物等と食品ロスの発生量（令和5年度推計）

【食品ロス】

国民に供給された食料のうち本来食べられるにもかかわらず廃棄されている食品



- ・先入れ・先出し
- ・納品期限2/3ルール



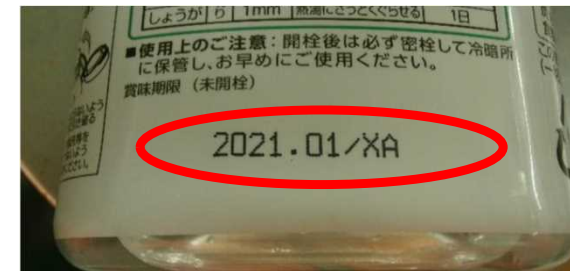
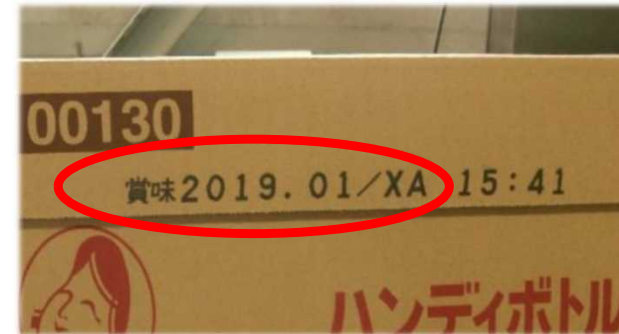
賞味期限年月日だと

全国6か所DC
需要と供給のバランスが崩れた
場合など、出荷できず廃棄など
に繋がっていた

2020年9月 家庭用商品年月表示開始（1か月単位）

【目的】

- 1) 食品ロスの削減
 - ・地球規模環境負荷低減
 - ・国の目標への追従
- 2) 製造や物流などのコスト削減
 - ・倉庫間移動の削減
 - ・仕分け作業削減
 - ・卸・小売管理の軽減



年月日表示（1日単位）

先入れ・先出し、納品期限 ⇒ 出荷できない商品在庫 ⇒ 廃棄

変更するにあたり、

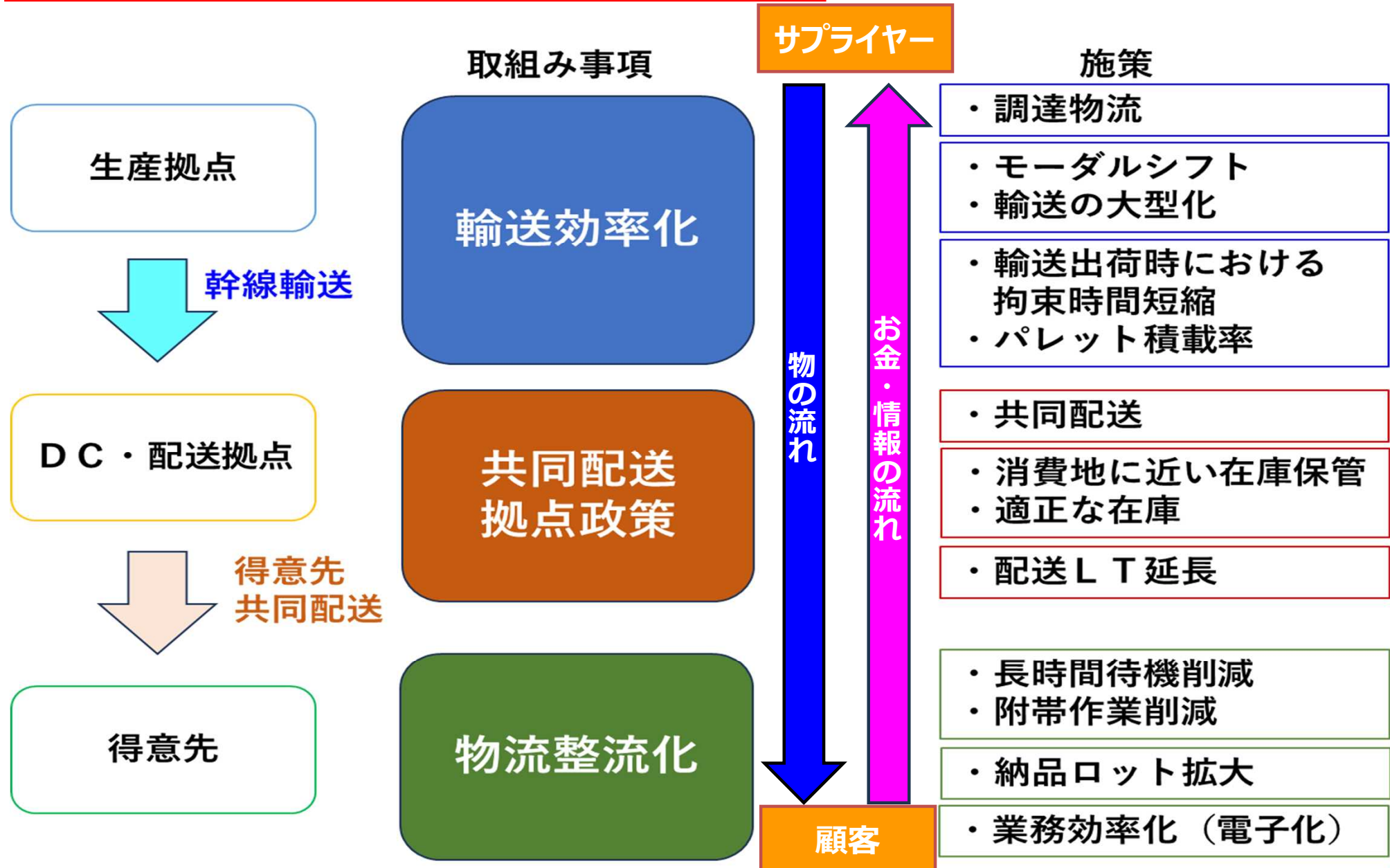
大掛かりなシステム変更費用への投資と長期工期：6か月
品質を担保し、賞味期限を1か月延長したうえで年月表示へ変更

変更後：廃棄高削減、管理低減による生産性向上

6. 今後の物流効率化に向けた取り組み

サプライチェーン全体で取り組み

「物・お金・情報」の流れを効率的管理し、最適化を図る



2026年4月「特定荷主の義務」施行への準備

特定荷主の法的義務

国の行政措置

中長期計画
の策定

定期の作成

物流統括管理者
の選任

勧告・命令

改善項目

- ・ 荷待ち・荷役時間の削減
- ・ ドライバーへの負荷低減
- ・ その他
- ・ 積載効率の向上
- ・ モーダルシフト

① 自社
運送依頼

分類：【発荷主】

- ・ 主に出荷商品
- ・ 原材料、副資材

年間総重量
(トラック輸送のみ)

9万トン
以上

『特定第一種荷主』

9万トン
未満

「第一種荷主」

② 取引先
運送依頼

分類：【着荷主】

- ・ 主に原材料、副資材
- ・ 出荷商品

9万トン
以上

『特定第二種荷主』

9万トン
未満

「第二種荷主」

7. 物流パートナー様への思い

◆物流の輸送～納品までは、全て物流パートナー様に委託

- ・2017年7月九州北部豪雨災害に始まり、2018年6月大阪北部地震、7月西日本豪雨、9月北海道胆振（いぶり）東部地震、関西台風21号災害など、現在まで自然災害多発。2020年2月～COVID-19（コロナ）感染拡大。 **自然災害多発とコロナ感染拡大**
- ・納品までのサービスをオタフクソース社員の代わりとなり、責任を持って行っていただいている。

当たり前のように、物流活動は進められ・・・  【当たり前は当たり前ではない！】

委託をせず、当社で物流業務を担った場合は、当然ながら改善を推し進めます。
物流パートナー様は、『社員の代わりに・・・』をモットーにS C M部で活動

◆地球環境にやさしい企業を目指す

- ・自社専用木製パレットから標準レンタルパレットに変更
- ・輸配送におけるCO²削減
- ・食品ロス低減に向けた取り組み
- ・ペーパーレス化への取り組み

◆サプライチェーン全体での今後取り組みが重要

- ・色々な改善取り組みは社内だけでは達成できない。サプライヤー・物流パートナー様と一緒に・・・。

100周年PJ 物流パートナー様へ

笑顔と感謝のプレゼント企画

2023年5月実施

■実施内容（詳細）

①お礼メッセージ



②手ぬぐい



③ジャンパー



ファスナーへのお名前入り



④作業用グローブ



物流パートナー様の笑顔



持続可能な物流を目指し・・・



今後も変わらず、 物流パートナー様と一緒に



ご清聴ありがとうございました

感謝